

事業報告

令和3年度 子どもゆめ基金 20周年記念事業 Let's ファミキャン!! ～はじめてのファミリーキャンプ～

令和3年9月25日(土)～26日(日)
【対象】テント泊の経験が少ない家族
【場所】国立信州高遠青少年自然の家

1. 趣旨

自然体験活動やテント泊の経験が少ない家族に対して、テント設営の仕方、野外での楽しみ方や時間の使い方、自然との向き合い方、家族キャンプならではの野外炊飯のメニュー等を体験してもらうことで、今後、家族で独自に自然体験活動を行うためのきっかけとする。

2. 事業の概要

(1)期 日 令和3年9月25日(土)～9月26日(日) 1泊2日

(2)対 象 小学生の子どもがいる家族で、テント泊の経験のない(もしくは少ない)家族

(3)参加者 9家族 内訳:大人13名(男:5名、女:8名)、子ども16名(男:8名、女:8名)

(4)日 程

(時)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
25日								開 会 式	移 動	テ ン ト 設 営 自 由 散 策	野 外 炊 事 ・パエリア ・豚の塩釜焼 ・かきたまスープ	焚 火 花 火 (シャワー)			就 寝 準 備	就 寝	テ ン ト 泊
26日	起 床	野 外 炊 事 カ ー ト ン ド グ	撤 収	魚の揚げ取り 魚をさばく 焚火で焼く 食べる			閉 会 式										

3. 企画運営のポイント

- ・ 家族団らんできる時間を設けるため、時間的に余裕のあるプログラムとした。
- ・ 宿泊棟に入ることなく、すべてキャンプサイトで完結するプログラムとした。
- ・ 他の利用者がいなかったこともあり、車をキャンプサイト近くに駐車させて、テント泊のハードルを下げた。
- ・ 調理器具等、出来る限り家庭にあるようなものを用いた。

4. 参加者アンケート(大人のみ。一部抜粋。)

- ・ いろんな新しい友達と遊べるところがとてもうれしいです。なかなか個人ではできないことを初めて体験できました。テント、魚、パエリア、塩釜焼、またぜひ参加したいです。
- ・ キャンプをやるタイミング、勇気がなく、きっかけが欲しかったため参加した。
- ・ すごく楽しく有意義だった。コロナ禍でなければ、もう少し他の家族と交流もしたかった
- ・ いつも感じているのですが、ボランティアさんが本当にやさしくて子どもたちが本当に楽しそうです。感謝しています。
- ・ キャンプの楽しさや、自分たちがやるときの課題など、感じられて充実できてよかった。
- ・ トイレが子供には少し遠かった。今回は車で上まで来れたけれど、普段の家族利用では大変だなと思った。キャンプ用品のおすすめ、価格、説明などありがたかった。
- ・ テントで寝たのがよかった。思ったよりテントが簡単にできて驚いた。
- ・ 来年も同じ事業があったらぜひ参加したいです。もりだくさんの内容で家族だけではなかなかできないことができてよかったです。寒かったのもう少し早い時期がいいと思った。

5. 事業中の様子

【テント設営（1日目）】



【野外炊飯（1日目・夕食）】



【魚のつかみ取り・調理（2日目・雨天）】



【空中テント（1日目）】

【焚火・花火（1日目）】

【野外炊飯（2日目・朝食）】



6. 成果と課題

(1)アンケート結果 回収13名
(大人のみ。回収率100%)

事業全体を通して	満足：12名	92.3%
	やや満足：1名	7.7%
	やや不満：0名	0%
	やや不満：0名	0%

(2)成果と課題

○今回は試験的にほぼホームページ上のみでの募集としたが、定員以上の家族が応募してくれた。ただ、参加者決定時点では10家族だったが、1家族キャンセルがあり、結果的に9家族となった。

○「キャンプ（テント泊）に興味があるが、なかなかきっかけがない」とか「サポートのある中でキャンプをやってみよう」という需要は多く、狙いを達成できたと感じた。また、次回あったら是非参加したいという家族も多く、子どもの自然体験活動の推進のために、ファミリーキャンプをはじめのきっかけとなる事業は有効だと感じた。

●テント泊の経験がない家族向けの事業であることを意識し事前案内を出したつもりであったが、もう少し細かくテント泊や生活のことを書けばよかったと感じた。（夜は何を着て寝るとか、どれくらい暗いとか、トイレからの距離等）

●コロナ禍ということもあり、家族間交流を重視せずプログラムを考えていたが、積極的に家族間交流をしたい家族が多いと感じた。